

建築インテリアデザイン学科

学校購入機種

Lenovo ThinkPad P15v Gen3 AMD (21ENS07C00)

価格面においてはメーカーの協力を得て右記のようになりました。

247,280円（税込）

C P U	AMD® Ryzen™ 7 PRO 6850H プロセッサー (3.20GHz)
メインメモリ	32 GB (PC5-38400 DDR5 SDRAM SODIMM, 16GB×2)
グラフィックアクセラレーター	NVIDIA® RTX A2000 (4GB)
補助記憶装置	512 GB (SSD M.2,PCIe,NVMe,Gen4,OPAL2.0)
表示機能	15.6 inch FHD IPS液晶 (1,920×1,080 ドット)
内蔵カメラ	前面 FHD 720P + デジタルマイクロホン
サウンド機能	インテル® High Definition Audio 準拠、ステレオスピーカー 内蔵
L A Nポート	10Base-T / 100Base-TX / 1000Base-T (自動認識)
無線L A N	インテル® Wi-Fi6E対応 Qualcomm QCNFA725A (IEEE802.11 a/b/g/n/ac/ax + Bluetooth v5.0)
バッテリー／稼働時間	リチウムイオンバッテリー / 約 12.9 時間 (JEITA 2.0規格)
内蔵ソフト	基本ソフト (OS) Microsoft® Windows® 11 Pro(64ビット正規版)
質量・外形寸法	約 2,26 kg (W 366.5×D 250 × H 22.7 mm)
修理対応	通常修理対応は、メーカー窓口により在学期間中無償対応
その他	アクシデント・ダメージ・プロテクション 最大3年間 (動産保険付)

※ハードウェア仕様に関しましては、特別仕様にしております。

アプリケーション無し

※新製品の出荷（発売）時期により、仕様変更となる場合があります。

※各学科で必要なアプリケーションソフトで学校から提供するもの以外で必要なものについては、別途購入となります。（後日連絡）

建築インテリアデザイン学科 ノートパソコンに関するQ&A

Q OSはWindows11が必要でしょうか？

Windows11が必要です。

学校で購入するパソコンもWindows11です。

エディション（種類）に関しては、Proを推奨しています。

Q Windowsは32ビット版か64ビット版のどちらでも構いませんか？

授業では64ビット版を使用するため、64ビット版が必須です。32ビット版では一部で使えないハードウェアやソフトウェアがあるため、授業に支障が出ます。

Q パソコンの保証はどうすればいいですか？

自分でパソコンを購入する場合は、購入時に在学期間の保険への加入をお勧めします。パソコンが破損・故障した場合は、保証内容により異なりますが、オンライン修理（メーカーからの出張修理）、または販売店への持ち込みや、メーカーへの郵送等の対応が必要になります。また、修理期間が数週間に及ぶことや、修理見積もり代金が必要となるケースもあります。詳しくは販売店やメーカーへご確認ください。なお、学校推奨パソコンを本校で購入した場合は、在学中の修理対応が可能となっています。

Q CPUは推奨パソコンと違っていても構いませんか？

多少性能が劣るものでも大きな問題はないと思われますが、Windowsや各種アプリケーションを快適に動作させるために、CPUは「Intel Core i7以上」「AMD Ryzen 7以上」を推奨します。

Q グラフィックコントローラーは、推奨パソコンで使用されているもの以外でも構いませんか？

3Dを学習する関係上、安定動作する「Nvidia Quadro系」を推奨しています。なお、AMD社Radeon系GPUは非推奨なのでご注意ください。

Q メモリーはどれだけ必要ですか？

学校推奨パソコンでは32GBを搭載しています。最低16GBは必要です。これより少ないと、授業で同時に使用する複数のソフトウェアを切り替えて使用する際に動作が非常に遅くなります。

Q SSD（ソリッド・ステート・ドライブ）やDVDドライブは必須ですか？

学校推奨パソコンはSSDのため、SSDが必要です。（容量は500GB以上を推奨します）HDD（ハード・ディスク・ドライブ）は動作速度が遅くなるため推奨しません。DVDドライブは授業では使用しませんので、搭載されていなくても構いません。※学科により対応は異なりますが、ソフトウェアの多くはインストール用のUSBを貸与したり、ネット経由でのインストールを行ったりします。

Q バッテリーは長時間対応のものが必要ですか？教室にはコンセントはありますか？

教室にはコンセントが設置されていますので、バッテリー切れの際には利用可能です。従って、必ずしも長時間対応のバッテリーである必要はありませんが、利便性を考えると長時間もつほうがよいでしょう。